

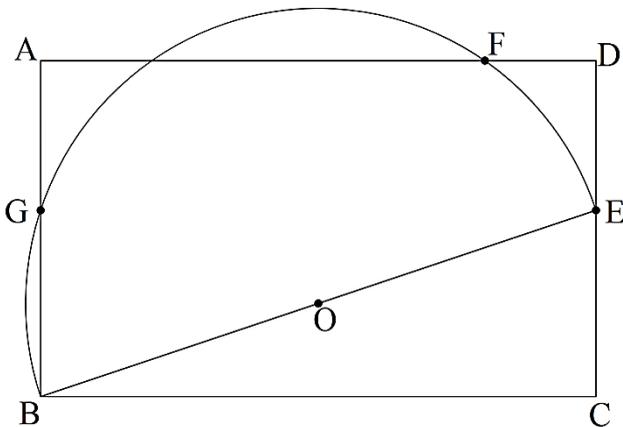
芸術的な高校入試第5回

美しさ：★★★★☆☆

難易度：★★★★☆☆

出典：2015年度 立川高校 など（グループ作成校）

下の図のように、 $AB=6$ cm, $BC=10$ cm の長方形 $ABCD$ があります。辺 CD 上に点 E を取り、 BE を直径、点 O を中心とする半円を、辺 AD と交わるように書きます。半円と辺 AD との交点のうち、点 D に近い方を点 F 、半円と辺 AB との交点を点 G とします。次の問いに答えなさい。



問1 $\angle CBF=45^\circ$ のとき、 $\triangle BEF$ の面積を求めなさい。

問2 $BE \parallel GF$ とします。

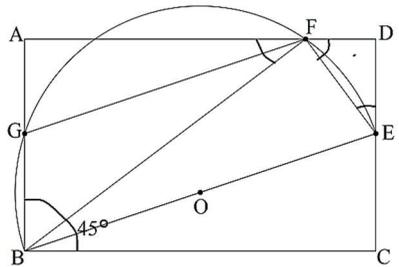
- (1) $\triangle BCE \equiv \triangle BFE$ を証明しなさい。
- (2) 線分 CE の長さを求めなさい。

【解答例】

問 1 (7 点)

$\angle CBF=45^\circ$ より、図の各所に 45° が
できる。

$AB=AF=6\text{ cm}$, $DF=DE=4\text{ cm}$ となる
から, $BF=6\sqrt{2}\text{ cm}$, $EF=4\sqrt{2}\text{ cm}$,
 $\angle BFE=90^\circ$ なので, $\triangle BEF=24\text{ cm}^2$



問 2 (1) (10 点)

【解答例 1】 公式の解答

$\triangle BCE$ と $\triangle BFE$ において,

BE は直径で, 直径に対する円周角だから, $\angle BFE=90^\circ$

仮定より $\angle BCE=90^\circ$ であるから, $\angle BCE=\angle BFE=90^\circ \dots ①$

共通な辺だから, $BE=BE \dots ②$

また, 直径に対する円周角だから, $\angle BGE=90^\circ$

仮定より $\angle GBC=90^\circ$ であるから, (同位角が等しいので,) $GE \parallel BC$

平行線の錯角は等しいから, $\angle BEG=\angle CBE \dots ③$

\widehat{BG} に対する円周角は等しいので, $\angle BEG=\angle BFG \dots ④$

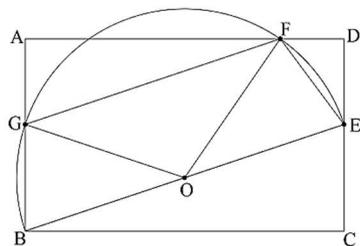
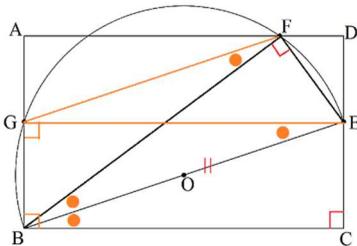
仮定より $BE \parallel GF$ だから, 平行線の錯角は等しいので,

$\angle BFG=\angle FBE \dots ⑤$

③, ④, ⑤より, $\angle CBE=\angle FBE \dots ⑥$

①, ②, ⑥より, 直角三角形の斜辺と 1 つの鋭角がそれぞれ等しいから,

$\triangle BCE \equiv \triangle BFE$



【解答例 2】

$\triangle OBG$ と $\triangle OEF$ において、

仮定より、 $OB=OG=OE=OF\cdots①$

$\triangle OGF$ は二等辺三角形だから底角は等しいので、 $\angle OGF=\angle OFG$

$GF//BE$ より、平行線の錯角は等しいから

$\angle OGF=\angle BOG$ $\angle OFG=\angle EOF$ よって、 $\angle BOG=\angle EOF\cdots②$

①、②より、2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいから、

$\triangle OBG\equiv\triangle OEF$ したがって、 $\angle OBG=\angle OEF$

$\triangle BCE$ と $\triangle BFE$ において、

共通な辺だから、 $BE=BE\cdots④$

直径に対する円周角だから、 $\angle BFE=90^\circ$

仮定より、 $\angle ABC=\angle BCE=90^\circ$ よって、 $\angle BCE=\angle BFE=90^\circ\cdots⑤$

また、 $\angle CBE=90^\circ-\angle OBG$ $\angle FBE=90^\circ-\angle OEF$

よって、 $\angle CBE=\angle FBE\cdots⑥$

④、⑤、⑥より、直角三角形の斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しいから、

$\triangle BCE\equiv\triangle BFE$

※なお、「円に内接する四角形の対角の和は 180° 」を用いて、円に内接する台形は必ず等脚台形であることを示すと、大分楽（証明が短い）だが、「対角の和は 180° 」は一応中学では発展内容（高校数学 A で習う）であるので、入試で書くには危険。立川なら柔軟に対応してくれそうだが…。

…②までは【解答例 1】と同じ

$GF//BE$ より(平行線の同位角は等しいから)

$\angle GBE+\angle BGF=180^\circ$ $\angle FEB+\angle EFG=180^\circ$

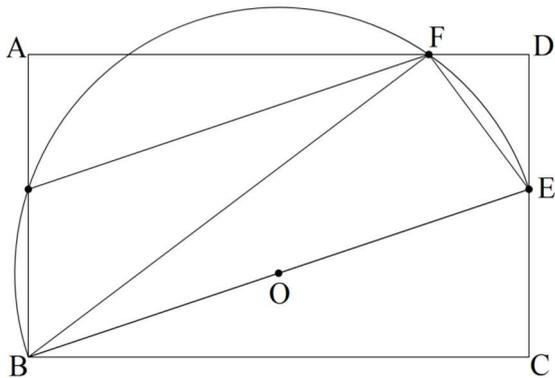
円に内接する四角形の内角の和は 180° なので、

$\angle GBE+\angle EFG=180^\circ$ $\angle FEB+\angle BGF=180^\circ$ よって、 $\angle GBE=\angle FEB$

$GB//EC$ より、平行線の錯角は等しいから、 $\angle GBE=\angle CEB$

したがって、 $\angle CEB=\angle FEB\cdots③$ ①、②、③より、直角三角形の斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しいから、 $\triangle BCE\equiv\triangle BFE$

問 2 (2) (8 点)



$\triangle ABF$ において、 $AB=6\text{ cm}$ 、 $BF=BC=10\text{ cm}$ だから、

$$AF = \sqrt{100 - 36} = 8 \quad DF = 2 \text{ となるから、}$$

$\triangle DFE \sim \triangle ABF$ より、 $DF : FE = AB : BF$

$$2 : FE = 6 : 10 \quad FE = \frac{10}{3}$$

$FE = CE$ だから、

$$CE = \frac{10}{3} \text{ cm}$$

【コメント】

問 2 (1) は様々な証明方法があります。

【作成】

高校入試 数学 良問・難問 <https://hokkaimath.jp/>